		エレベータ	1．インバーター制御方式の導入 2．回生電力回収システムの導入 3．永久磁石（PM）式同期モータギヤレス巻上機の導入
		エスカレータ	1．自動運転装置の導入 2．台数制御の導入
	照明設備	高効率照明設備	1．高効率照明器具（ＬＥＤ、省電力形電球、高効率蛍光灯、電球型蛍光灯）の採用 2．窓際照明の回路分離の採用 3．光ダクトシステムの採用 4．高反射率板の採用 5．高輝度誘導灯の採用
		照明制御装置	1．ブラインド制御の導入 2．照明自動点滅装置の採用 3．段調光システムの導入 4．昼光利用システムの導入
	未利用エネルギーの活用	小水力発電設備	管路の残存圧力を利用した取水・送水等への小水力発電設備の導入

別表２　下水道業

工　程	設　備　区　分		具　体　的　内　容
前処理・揚水工程	電気使用設備	沈砂池設備、主ポンプ設備	1．スクリーン設備間欠運転 ①タイマー運転 ②水位差検出 ③主ポンプ連動 2．揚砂設備間欠運転、池順次・交互運転 3．流入水量に応じた池数制御 4．主ポンプ運転の効率化 ①台数制御 ②インバーター等による回転数制御 ③高水位運転（揚程の低減） 5．主ポンプ揚水量の平準化（管きょ、調整池を利用） 6．高効率ポンプ、高効率モータの採用 7．ポンプ容量及び台数の適正化
水処理工程	電気使用設備	最初沈殿池設備	1．流入水量に応じた池数制御 2．掻寄機間欠運転（タイマー､汚泥界面） 3．汚泥引き抜きポンプ間欠運転（タイマー、濃度、プリセット量） 4．スカム除去設備スカム捕捉効率の向上（返流水量の低減及び稼働時間の低減） 5．軽量チェーンの採用（樹脂製等）
		反応タンク設備	1．送風量の適正化 ①流入水量比例制御 ②ＭＬＳＳ制御 ③ＤＯ・ＯＲＰ制御 ④小型送風機と微細気泡散気装置との組合せ 2．散気装置酸素移動効率の向上（微細気泡散気装置など） 3．散気装置目詰まり防止対策（圧力損失の低減） 4．電力使用量の低減 ①ターボブロワー（台数制御、インレットベーン制御、回転数制御） ②ルーツブロワー（台数制御、インバーター等による回転数制御） ③水中攪拌機、曝気機（高効率機導入、インバーター等による回転数制御、間欠運転） 5．消泡水量の適正化、間欠散水 6．高効率ブロワー、高効率モータの採用 7．ブロワー容量、ブロワー台数の適正化
		最終沈殿池設備	1．掻寄機間欠運転（タイマー､汚泥界面） 2．返送汚泥ポンプ（台数制御、インバーター等による回転数制御） 3．余剰汚泥ポンプ間欠運転（タイマー、濃度、プリセット量） 4．スカム除去設備スカム捕捉効率の向上（返流水量の低減、稼働時間の低減） 5．軽量チェーンの採用（樹脂製など） 6．高効率ポンプ、高効率モータの採用 7．ポンプ容量及びポンプ台数の適正化
		高度処理設備	1．水中攪拌機（インバーター等による回転数制御、間欠運転） 2．硝化液循環ポンプ（流量制御、台数制御、インバーター等による回転数制御、エアリフトポンプの採用） 3．返送汚泥ポンプ（台数制御、インバーター等による回転数制御） 4．砂ろ過装置、生物膜ろ過装置洗浄工程最適スケジュール運転
汚泥処理工程	電気使用設備	汚泥輸送設備	1．汚泥輸送ポンプの運転制御の効率化(台数制御、インバーター等による回転数制御) 2．高効率ポンプ、高効率モータの採用 3．ポンプ容量、ポンプ台数の適正化